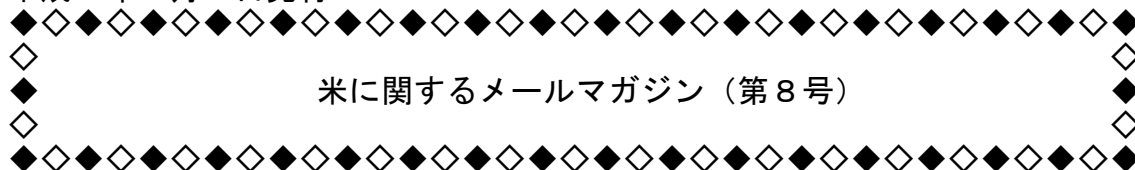


平成26年10月30日発行



米に関するメールマガジン（第8号）

昨年秋に決定した米政策の見直しにおいては、生産者や集荷業者・団体の主体的な経営判断や販売戦略に基づき、需要に応じた米生産ができるよう環境整備を進めることとしており、平成26年3月から米の流通に係るよりきめ細かい需給・価格情報、販売進捗・在庫情報等の提供を行うこととしています。

平成26年産米の相対取引価格・数量、契約・販売状況、民間在庫の推移等の状況について（平成26年9月）、米の出荷・販売業者、団体等から報告のあった内容を取りまとめ、本日公表しましたのでお知らせします。

★ 平成26年産米の相対取引価格・数量、契約・販売状況、民間在庫の推移等について（平成26年9月） ★

（1）相対取引価格

平成26年9月の相対取引価格は、全銘柄平均価格で、12,481円/玄米60kgとなっています。

（2）契約・販売状況

平成26年9月末現在の全国の集荷数量は104万トン、契約数量は107万トン、販売数量は14万トンとなっています。

（注：事前契約数量等により、契約数量が集荷数量を上回っています。）

（3）民間在庫の推移

平成26年9月末現在の全国段階の民間在庫は、出荷・販売段階の計で197万トン（前年同月差▲12万トン）となっています。

（4）事前契約数量

全国の前契約数量は、88万トンとなっています。

（詳しくはこちら）

○「平成26年産米の相対取引価格・数量（平成26年9月）（速報）」（PDF：132KB）
→ http://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/soukatu/pdf/2609_kakaku.pdf

○「平成26年産米の産地別契約・販売状況（累計、うるち米、平成26年9月末現在）（速報）」（PDF：113KB）
→ http://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/soukatu/pdf/2609_hanbai.pdf

○「民間在庫の推移（速報）」（PDF：181KB）
→ http://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/soukatu/pdf/2609_zaiko.pdf

○「産地別事前契約数量（累計、うるち米、平成26年9月末現在）（速報）」（PDF：63KB）
→ http://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/soukatu/pdf/2609_jizen.pdf

本資料及び過去の調査結果（相対取引価格）は、当省ホームページから御覧になれます。

→ <http://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/soukatu/aitaikakaku.html>

上記情報も含め、米に関する価格動向や需給動向に関するデータを集約・整理した「米に関するマンスリーレポート」を毎月上旬に公表しています。

（詳しくはこちら）

→ <http://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/soukatu/mr.html>

★ 米関係統計情報の調査結果について ★

平成26年産水稻の作柄面積及び予想収穫量（10月15日現在）を公表しました。
→ http://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou_kome/index.html

なお、本年は、北海道から関東・東山では全もみ数が総じて多いことや、8月以降の天候が低温や日照不足傾向であったことから、登熟にバラツキがみられるとともに、青死米等の混入も多い状況となっていることから、平成26年産水稻の青死米等の発生状況の実態を把握するため、10月15日現在の水稻収穫量調査に合わせて、青死米の発生状況について調査を実施しました。
→ <http://www.maff.go.jp/j/press/tokei/seiryu/pdf/141030-02.pdf>

★ 平成26年産米の農産物検査結果について ★

平成26年産米の農産物検査結果（9月30日現在）を公表しました。
→ <http://www.maff.go.jp/j/seisan/syoryu/kensa/kome/index.html>

★ 「3・1・2弁当箱法」セミナーについて ★

「3・1・2弁当箱法」とは、1食に何をどれだけ食べたら良いかが簡単に分かる方法です。（公社）米穀安定供給確保支援機構（米穀機構）、JA全農、JA全中は、JAビル近隣の勤務者を対象に「3・1・2弁当箱法」セミナーを開催し、自分にあった適量で、おいしい食事を体験してもらいます。

- ・日時：11月19日（水曜日）12時～13時
- ・会場：農業・農村ギャラリー〈ミノール〉（JAビル4階）
- ・講師：針谷順子・NPO法人食生態学実践フォーラム副理事長
- ・参加費：1,000円（お弁当付き）
- ・定員：30名程度（要予約）
- ・問合せ先：農業・農村ギャラリー（03-3212-2355）

（詳しくはこちら）

→ <http://www.ja-kizuna.jp/event/gallery>

★ 『世界で評価される「和食」とごはんの魅力』レセプションの開催について ★

（公社）米穀安定供給確保支援機構（米穀機構）は、海外メディアの関係者を対象とした標記レセプションを開催します。

当日は、料亭「青柳」3代目主人、小山裕久氏による講演「和食を無形文化遺産にした日本のごはんの魅力」及び一汁三菜の提供、M.O.F.受賞シェフ、エリック・トロション氏による講演「外国人シェフからみた和食の魅力」、千葉伝統郷土料理研究会主宰、龍崎英子氏による「太巻き祭りずし」の実演、体験・試食などが行われます。

- ・日時：11月10日（月曜日）19時～20時50分
- ・会場：日本外国特派員協会（有楽町電気ビル）
- ・対象：メディアのみ
- ・問合せ先：『世界で評価される「和食」とごはんの魅力』レセプション事務局（03-4580-9102）

（詳しくはこちら）

→ http://www.komenet.jp/documents/2014/20141027_kaigai.pdf

★ 「ジャパンフードフェスタ2014」の開催について ★

農林水産省は、食の日本代表を食べ歩けるイベント「ジャパンフードフェスタ2014」を東京の丸の内仲通り等で開催します。

米粉の紹介展示や、米粉を使った唐揚げ・ロールケーキの試食・販売なども行われますので、是非ご来場ください。

- ・日程：平成26年11月1日（土曜日）～2日（日曜日）
- ・場所：東京・丸の内仲通り、有楽町駅前広場、西銀座数寄屋橋公園前、銀座等

【米に関するメールマガジン】

発行：農林水産省生産局農産部農産企画課